

磐城商工時報

計劃と実績

渡邊 生

事業の經營に當つては最も精細なる研究に基いた計畫の必要なる事は今更贅言を要しない。事業の計畫には長期間に亘るものと、短期間のものとある。短期間に其結果を見る事を得る事業の計畫は之を企圖する事は極めて容易であり且其計畫の遂行上にも大なる違算を生ずる憂ひも少い。即ち期間が短ければ其間に生ずべき事業上の變化、環境の推移等に就て相當正確な豫測が出来るとし、實行上於ても大抵豫期した通りの結果を示して來るものである。

然し長期の計畫によると、其當初に於て最も精密な研究調査に依つて企畫し、其遂行上萬遺漏なきを期して行つても長期間には一般經濟界に如何なる大變動が突發するか、又自己經營の事業のみにして如何なる過熱の動搖を起すかと云ふ事は絶対に豫測し難いのであるから、兎角種々なる見込違ひを生じ所期の結果を見る事の出來ぬ場合が甚だ多いのである。例へば現在に於ては事業界も一般に不振であるし自己營業も未だ創業日も淺いから、之だけの費用を投じ犠牲を拂ひ商品は原價を切つて賣り其結果として極めて薄利を以て甘んじ此數年間を忍従して行けば、又經濟界の回復と共に事業も擴張して行き、當初には採算上

月三回發行、其日
發行編輯人 渡邊源吉
發行所 福島縣平田町二番地
磐城商工時報社
印刷所 加納活版所
廣告料 五割増し
社務所 指定郵便局
新聞定価 一部五錢
一ヶ月五圓 一年五十五圓

引合はなかつた營業も漸時引合ふ様になつて來るであらうと云ふ豫想に基いて計畫する事業家が可なり多い様である。然るに斯かる計畫は實際に於て正反對の結果を生むものである。即ち事業當初に於て利益を度外視した營業を續けて行く事は、巨額資金を握る場合ならば知らず普通の事業家としては、徒らに自業を疲らせ發展力を阻害し到底永續を不可能ならしめる、幸ひにして一陽來福の好況時が循環して來たとしても、其時分には最早何等の活動力を餘さざる状態に沈淪して居ると云ふ様

復興の東京へ

星製薬を訪ね 偉大なる事業を視る

激測たる大工場の偉觀

復興の東京へ去る十四日立憲一行に取つては特に名譽こはし小泉、警實の大和田、警經の鈴なかつた、むしろ赤ケツト式に木の三氏と本社の渡邊を加へて納まる事が望みだつたから、四名、平發急行三等室に納つた大和田君の

銀行會社の課長級のスター、小泉君の小むきに抱いた黒カバンのスターはごふしよりの來訪と聽いて頗る上機嫌に、高利貸、鈴木君は藝術家らしいが、赤カバンをぶらさげた消極的なを頻りに説いてゐた所は、悪く見て機械商か、とに角新聞記者として見られる事はらぬと結んだ、兎に角工場と商

な事も決して稀では無い、斯くの如きは計畫の余り永きに失した事より來る處の失敗云はなければならぬ。故に事業上の計畫は特殊事業を除いては餘り遠大なるを避ける方が確實である、寧ろ現在に於て充分の確信を以て豫測し得る程度の短期間に止め得る利益は之を收め、受け得べき所得は之を受け事業の本體を絶えず養ひつゝ、一步又一步確定せる進展を續けて行く方が良い。斯くして築き上げた事業は自ら弾力に富み盤根錯節に堪へ、永久に動かさざる活動力を備ふるものである

業學校及び講堂を見てくれといふので、案内役二名の青年社員と同道星社長専用の自動車に乗じて平塚村の星製薬株式會社を參觀した、一驚を喫したのは百五十萬を投じた目もまばゆき

大講堂の建築

御承知の通り星社長は

明治六年十二月二十五日石城郡錦村の一農家に生れ、東京商業學校を卒業後渡米して苦學しつゝ紐育のコンベンヤ大學校にて四年間經濟學、統計學、社會學を研究した、學校卒業後は紐育市に於て米國人を講讀者とする「英文日米」及在留邦人相手の「日米週報」を發行した、其後「英文日米」は「日米週報」に合併したが、週報は今猶紐育に

上野間を日中往復二回、夜間往復一回して各店舗について見學見て戦を思ひ事に臨んで奮勇を揮ふ可し」とあり江口氏の努力主義に其個性が遺憾なく躍如としてゐる。

世界に於ても、斯くま着々陣容を調へ現在では入山、三井、福島其他の炭礦に迄其手をのばしたので磐城ではこれに對抗すべく磐城會社設立し金山労働者の八分以上の會員を有すに至つたので入山にても右磐城會社と同一目的たる立國自治會

事業界の權威

江口氏の努力主義 信用と實力に依り 事業益々振ふ

萬年瓦の元祖とし請負土木事業の成功者として知られてゐる江口忠一氏は努力主義と實力とに依り

基礎漸く 確立し平町に堀江工業株式會社を創立し土木事業家として縣下有数の位置にあり萬年瓦の販路擴大と共に江口氏の各聲はとみに知られてゐる、請負の範圍は極めて廣汎にして青森方面から東京方面に渡り、本縣廳、鐵道等の請負に當つては特に信用を有してゐる、而して江口氏は常に座右銘を備へ自ら是れを實行し社員に範を示してゐる。

野崎氏の美談

快氣祝に寄附

平町會議員野崎滿藏氏は去る六月二十一日遭難の快氣祝として本縣育英會に百圓、平町小學校へ百圓、平訓官學校に五十圓、並に平人事相談所と自營會に各二十五圓、合計三百圓を寄附したが、形式的な快氣祝を廢して意義ある方面に金錢の寄附を爲した事は誠に美談と言ふ可し。

入山坑に 立國自治會 設立準備中 内郷村磐城炭礦會社を中心に設

立された日本労働総同盟支部は、斯くま着々陣容を調へ現在では入山、三井、福島其他の炭礦に迄其手をのばしたので磐城ではこれに對抗すべく磐城會社設立し金山労働者の八分以上の會員を有すに至つたので入山にても右磐城會社と同一目的たる立國自治會

時事研究会例會

磐城時事研究会は廿七日午後七時より初音に會合東京視察に關して種々視察談の交換あり懇談の上同十時散會した。

一時堀部氏に一任したといふが果して鈴木君は、諒解といふ氣分になつてゐるか、疑問である。

御挨拶

我等一行の視察に際し特に便宜を與へてくれた有志各位に對し深甚なる感謝の意を表す

渡邊源吉

ちかごろ片々 磐城經濟新報と磐銀とのいさざつは、堀部留造氏の仲裁で一時的にも記事を中止する事になつたのは結構である。

經濟の鈴木君はよく堀部氏に一任するやうな氣持になつたのが不思議な位だ、同君はあれで仲々の剛情者で一度言ひ出すと矢でも鐵砲でも押し通すと云ふ性格の一面を持つてゐる、豊間の實家を飛び出したのも要するに同君の個性を表現してゐる。

一時堀部氏に一任したといふが果して鈴木君は、諒解といふ氣分になつてゐるか、疑問である。

我等一行の視察に際し特に便宜を與へてくれた有志各位に對し深甚なる感謝の意を表す

渡邊源吉

渡邊源吉